

スポーツ傷害の診療

学生から培われた運動習慣は全世代にさまざまなスポーツへの参加する土壌になっています。また、新たに健康寿命を伸ばそうとスポーツをされる方も多くなっています。それに伴い、痛みやパフォーマンスの低下に悩まされる場合も増加するでしょう。年齢による変形性関節症など慢性的な疾患だけでなく、スポーツ特有の傷害による痛みを抱える方も少なくありません。

そのような状態に対して、運動療法や投薬など、様々なアプローチで治療を行います。また手術に関しては、復帰を考え、関節鏡など、それぞれの患者さんに合わせた方法を十分に検討し、最適な治療が提供できることを目標としています。年齢や性別等を問わず、関節痛やスポーツ傷害にお悩みの方は、ご相談ください。

ケース1：膝の前十字靭帯損傷に対して、関節鏡下靭帯再建術を施行。



→ 解剖学的位置に骨孔を作成し再建靭帯を固定しています。良好な関節安定性が得られスポーツへ復帰されています。